

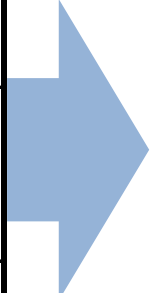
2021年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 ( 熱海市児童発達支援センター )

作成日時 ( R3.9.24 )

R2年度 改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に引き続き、地域との交流を図る機会をつくり、センターの活動や取り組みを知ってもらう。</li> <li>・保護者ニーズとして、保護者同士の交流する場所の提供・懇談会を開催。</li> <li>・日々の活動を、保護者の方に知って頂くためにラインワークスでの発信と活用</li> </ul>
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流の場を作る</li> <li>・防犯対策の徹底</li> <li>・形にとらわれず、個を見る支援</li> </ul>

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状として、バリアフリーは適切な範囲ではある。</li> <li>・活動スペース・共有スペースも十分に確保されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、室内の段差や手すりなどつけておく必要な場所はある。改善できる場所からしていきたい。</li> <li>・利用者が増えていく事を想定し、活動スペースの使い方、職員の確保をしていく必要がある。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の評価や、保護者の意見を踏まえ、目標を設定しその目標達成の業務改善に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDCAサイクルについては、一部の職員が参画している。多くの職員の意見も取り入れ、共通理解していく必要がある。</li> </ul>
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や、個々自立課題などチームで立案している。</li> <li>・保護者のニーズに沿って、支援計画をしている。その計画に基づき支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援のガイドラインや、実際の活動プログラム内容までは保護者には伝わっていない。</li> <li>・近隣の一般園との交流保育を行ったが、一部の子どものみだけの交流だった。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の連携の場がない。</li> <li>・関係機関との連携は保護者の同意を得たうえで密に行っており、内容についても保護者に伝えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアトレは実施していない(実施できるスタッフがいない)</li> <li>・7月の参観会の際、保護者会を開催し、今後の方針などについて希望を聞き取った。</li> <li>・6・10月に、多賀幼稚園と交流保育を実施している。(ただし、一般園を併用していない子対象)</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への支援内容の説明や。相談や申し入れについての説明は、概ねできていると互いに評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営規定・利用者負担等についての説明にどちらともいえないと回答した保護者が1名おり、契約時や相談支援時等で丁寧な説明を行っていく事を心掛けた。</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害時の発生に備えた訓練がされている。</li> <li>・個人情報の取り扱いが</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯マニュアルの作成と周知がされていない。</li> <li>・小さなことの予測ヒヤリハットの作成をしていく。</li> </ul>



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設自体十分な広さがあり、活動に合わせたスペースを確保されている。</li> <li>・保護者や子供の気持ちに寄り添い、保護者ニーズや意欲的に分析した支援計画を作成しそれに沿った支援を行っている。</li> <li>・関係機関と密に連携が取れている。</li> <li>・交流保育を受け入れてくれる園がある。</li> </ul>

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流を図れる機会をがすくない。</li> <li>・防犯マニュアルの徹底がなされていない。また、訓練もされていない。</li> <li>・ヒヤリハットが書かれていない。職員同士の共有ができていない。</li> <li>・ペアトレなどの支援を行っていない。支援が出来る知識を習得</li> <li>・PDCAサイクルに、多くのスタッフを参画していない。</li> <li>・交流保育を経験する子供や機会が少なく周知しきれていない。</li> <li>・その日行われた支援の振り返りと見直しの共有。</li> <li>・地域住民とのとの交流がない。</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から頂いた意見を参考に、保護者同士の交流を図れる機会を少人数や定期的に開催していく。</li> <li>・防犯マニュアルの作成及び、職員への周知をしていく。</li> <li>・日常から、ヒヤリハットを書くことを習慣にし、危険予測につなげていく。</li> <li>・定期的に、職員間で支援について集まり意見交換の場を増やしていく。(日々の振り返りは、日誌などで共有)</li> <li>・お子さんの日々の活動を、保護者の方にラインワークスにて個々に発信していく。</li> <li>・家族支援につながるような、研修会など積極的に参加し、より良い支援をしていく。</li> <li>・地域の行事などに参加したり、センターの取り組みを知って頂けるよう発信していく。</li> </ul>

自己評価を行っての事業所としての感想など
<p>今年はコロナ渦の中、出来る範囲での日にち分散の参観会や、保護者会を開いた。また、今後の保護者会のあり方をOBの保護者の意見を頂ける機会を設けることができた。意見を参考に、保護者同士のつながりを作っていきたい。毎日の療育の中でのヒヤリハットになるようなことも、書面ではなくスタッフ同士の会話で終わってしまっている。しっかり書面に残していくことで、日々の危険予測にもつながって行くと思う。昨年に引き続き、コロナ対策を進めてきたが、その中でも1対1で教えてきたマスクの着用が利用者全員が出来るようになったことは本当に良かったと思う。</p>

来年度の施設目標	
----------	--